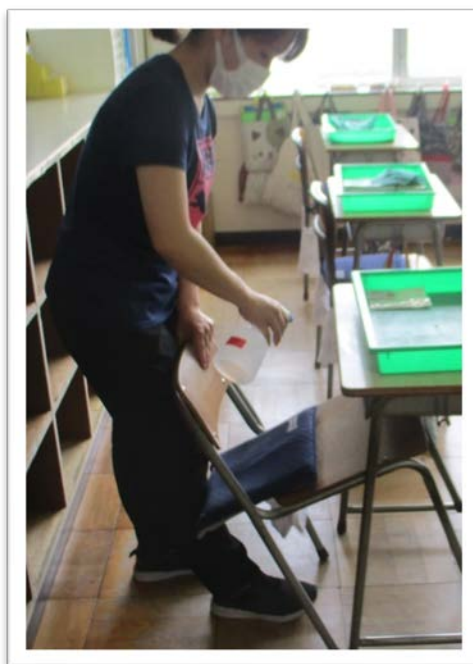


教職員による清掃・消毒作業

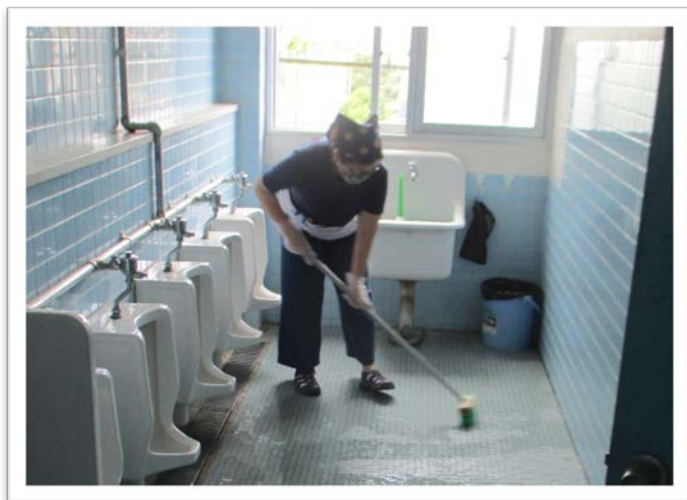
毎日、児童下校後に行っています



机、椅子、引き出し、ドアの引手など、
除菌水をかけ、拭き取っています。



当面は、トイレ掃除も職員が行います。



児童が手洗い・うがいを行う流しも、念入りに清掃しています。



本校では、机等の除菌は「次亜塩素酸ナトリウム活性水」で、手指等の消毒は「微酸性次亜塩素酸水」で行っています。

使用に当たっては、文科省・埼玉県教委の通知を遵守し、また適宜、学校医の指導を受けています。



ソーシャルディスタンス

学校は「密集・密接」になりがちです。それを防ぐ工夫をしています。



フロアによって形は異なりますが、床のマーク等で距離を取って並ぶように促しています。



掲示物でも注意を呼びかけています。



図書室の工夫

並び方のフットマーク、受付のビニルシートなどで感染予防に努めています。



椅子を間引いて間隔を広くしています。



図書主任が図書館指導員の指導を受け、工夫しました。

衛生指導

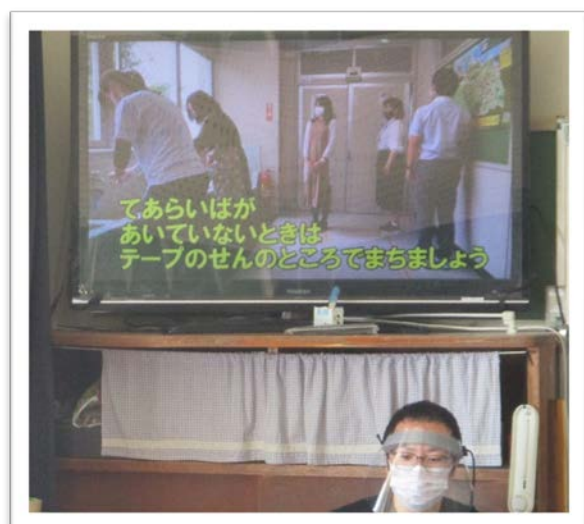
感染症対策として、児童に「学校生活における新しい生活様式」を指導しています。
(指導の様子の写真は主に準備登校中ですが、継続して指導していきます。)



感染症について、発達段階に応じた基礎的な知識を指導しています。

丁寧な手洗いが感染症予防の基本。
歌に合わせた手洗いの方法を指導しています。

水道前には手洗いの掲示物

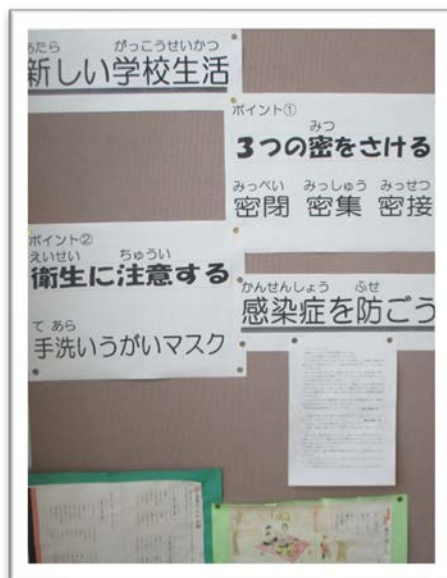


廊下のマークに従って並ぶことを指導。
映像も東小自作で、並んでいるのは本校職員です。

注意喚起の掲示物も校内各所にあります。



教室の扉に



学年掲示板に
(放送によるお話朝会
の内容の掲示)

水飲み場にはこんな掲示も・・・



不衛生ですし、うっかり置き忘れたりすることを防ごうという意味もあります。



クラスごとに使う蛇口を分け、「密」を防ごうという意図です。

給食指導

6月9日から始まった給食。児童にとって大きな楽しみではありますが、衛生面では最も気をつかう場面です。手洗い・消毒を徹底していきます。



机の配置は授業のままとし、班ごとにはしません。

配布された献立で、品数が減っていることを不審に思われた方もいるかもしれません。感染予防のために配膳の手間を減らすという意図と聞いています。児童に必要な栄養素やカロリーは確保されるよう工夫されているそうです。

ご理解いただけるよう、お知らせします。



配膳はできる限り教員が行います。
低学年には、担外教員が支援に入ります。

「かわ」ごとに順番に受け取りに行きます。



品数が多いときは、児童にも配膳させることがあります。
その際は、ビニル手袋を着用させます。

保健室について

体調の思わしくない児童の世話をを行う保健室は、校内で最も感染症リスクが高い場所と言えます。そこで、少しでも感染症の可能性のある児童は、近接の図工室を臨時的待機場所として、怪我等の児童と区別しています。



パーティションの奥が図工室です。

図工室では、待機場所としている間、授業は行いません。

また、図工室とその近くの水道・トイレの清掃は職員が行います。

図工室内の様子



身体測定

児童の健康管理のために欠かせない健康診断の一つとして、法律で実施が義務付けられている身体測定。通常は保健室で行いますが、今年は体育館を会場としています。



事務室

来校者受付である事務室には、ビニルシートでパーティションを設けました。
除菌水は、どなたでもお使いいただけます。



校庭に大きなマス目

1辺2mのマス目が4×10、校庭に2面描かれています。



本校体育部のアイデアで、ソーシャルディスタンスを保ちつつ体操などが行えるようにするための工夫です。

距離感を育むのにも役立てることができそうです。

